おまけページ　パノラマ大百貨店　第二回 No.2

ちょっとエッチなあの企画がふたたびガロにかえってきたぞっ

おっぱいだいすきⅡ!!

ツウーッ

本日もご來店　誠に有り難う御座居ます。今回のパノラマ百貨は　おっぱい大好き大越が自信をもっておおくりする『おっぱいの話し』の第二弾です。ガロリストおっぱいフリークのみなさん、お乳首の調子はいかがですか？元気にぽちんとしてないひとはこのページをよんで可愛い乳首をぽちぽちしてあげましょう!!ピクッ　それではさっそく前回の企画のときにいただいたおたよりの紹介です。

『おっぱい大好き』を読んで。書きちが中学高校の頃、友人間で回し書きした『ラク書き帖』的なノリがあってなつかしかった。松井雪子さんの『奇習』㊟のおっぱいは大きくてさわりがいがありそうでよかったです。

（Oさん・24さい）

この方は大越もびっくりのおっぱい愛好家さんでとくにAV女優のおっぱいに精通されているようです。僕が以前みたビデオにすんごく色白の女優がいてその人の乳首は普通の人のはだ色よりも白っぽくて桜のつぼみのようでした。この人は演技力もあるようなのでぜひ普通の映画でまっしろなおっぱいをみせてほしいです。㊟はガロ91年10月号の松井雪子さんの漫画でボリュームのある乳うん大きめの未亡人おっぱいがでてきます。ゆさゆさで重そう。マニア必見です。

私のおっぱいは平常時はちくびがありません。カン没乳首(?)がそのまま進行して中に入りこんでいるのです。(図一)でもそれが寒くなったり、感じたりするときにはぴこっと顔を出します。そうすると乳首のまわりのぴんくがちょっとしわしわになったり乳首のまわりのポツポツが明確になるのです(図二)

before　図一　after　図2

（ちくこさん・17さい）

彼女ははやくおっぱいが大きくなってちくびのまわりが外人みたいに大きくなってしまったそうです。女のこの乳首がかんぼつする原因は僕もよくわかりませんがこれについては某バンドのCさんがよくしっているので次の回にまたかきたいとおもいます（↑スペースの都合です。ごめんなさい）

女のひとがダイエットをするとどこが最初にひっこむかというと胸です。ムネ。もう悲し程になくなります。体重が減ってうれしいのとムネがなくなって悲しいので、もう泣き笑いor笑い泣きです。慣れないワイヤーブラは見栄をはると痛い目にあう。

（Sさん・18さい）

Sさんはとてもあかるい女のこで、まるで友達に話すようなかんじで御自分のおっぱいのことをかいてくださいます。彼女のお父さんは娘の胸をさわるそうでSさんは『ただでさわるな、カネよこせっ』というそうな。ところでワイヤーブラについては彼女のほかにもかいてくれたちがいて今後、この企画の論点のひとつになりそうです

僕の恩人のT氏の母親は右の乳首が異常に大きい。なぜなら T氏は赤子の頃、ナゼか母親の右の乳首しか吸わなかったからだという。たまには左も吸えとばかりに右の乳房に鬼の絵を描いたりしたが効果なかったという。

Kさんはこのほかにもいろんな面白いおっぱい話しをかいてくれましたがどうもつくりネタというか、あやしいのがいくつかあるのでそのことをお返事にかきました。それが……　後日Kさんからいただいた次の手紙になんと!!　某有名女優のブラジャーのすけた写真が同封されていました。残念ながら詳しいことはここには書けませんがこのひといったい何者なんだ!?相当なマニアとおみうけします。

（Kさん・?さい）

私は左が大きくて右が小さいです。心臓があるからかしら。だからピッタリサイズのブラジャーがありません。乳房はかたいです。押すと痛い。乳首は小さめで左の乳首の上にホクロがあります。これはお気に入り。

・ムトウのカタログに載っていたバストサイズの測り方

〈トップバスト〉

胸のふくらみの最も大きい周囲を測ります。

バストを下がったままの状態でなく正しくブラジャーをつけた状態のように持ち上げて乳頭の一番高い位置を測るのがコツです。

（Lさん・18さい）

今回いただいたおたよりの中でもLさんのおっぱい話はほんとにこまかくていねいにかいてあって読んでいてとても楽しかったです。左右の胸の大きさがちがう女のこはけっこういるらしく、じつは両方のおっぱいのバランスがぴったりしてる人のほうが少ないという説もあるくらい。女のこはたいへんですね。男なんてちん○まの大きさが左右少しちがうなとか気にするやつはいないだろうなあ。それにしてもトップバストを測ってる千手観音は最高!!・パンツはいてるのがエッチだね。

まだおっぱりといえるモノがついていなかった小学生の頃、某テレビ番組で超有名人らしい男性が『目が離れている女は胸も離れている。今まで見てきた女は全てはずれたことがない。裸をみなくても顔だけ見ればわかる』と公言し、私は思わず「げっ」と言ってしまいました。　今現在多少なりともトラウマとなっています。　私の目って離れてるのかなあ?。

◎おっぱいひとつぶメモ◎　大きなおっぱいのことをよくボインといいますが、このボインという名称、実はあの大橋巨泉さんが考案した言葉です。若いひとにはあまり知られていませんが一説によると　むかし巨泉さんがテレビ→で共演した朝丘雪路さんの胸をみて　ボイン　ボイン!!とゴーカイにいったのが最初らしいです。みなさんも巨泉さんにまけない新しいおっぱいの→呼び名を考えてみてはいかがでしょう。ちなみに巨乳とゆうのは誰が考えたんだろう?　知ってるひとおしえて。

本誌初公開!!

これがジェントルマンメモだ!!

先月号で予告した女流漫画家A彦M理絵さん所蔵のジェントルマンメモ、この手帖外見は普通のスパイ手帖とおなじですが中には外人さんのヌードが数ページとこの乳房でわかる女性の性感帯とゆう付録がついています。それにしてもなんだこりゃ

〈乳房でわかる女性の性感帯〉

乳房は女性の象徴です。特に性器やホルモンとの密接な関係にありますから、乳房によって女性のすべてがわかるわけです。

よい乳房は、うれた果実のような感じがし、大小そのものよりも弾力性があって、なるべく上向きの乳首のあるのをさします。

こうした女性は、性感覚もすばらしく、情の面が調和がとれて、男女の性生活がスムースにゆくよき女性といえます。

反対に、わるい乳房は、形がふぞろいであったり、弾力がなく、たれているのをいいます。

このわるい乳房は、情の生活のわるさを物語るもので女性の生理面の発育不全か故障があるんです。したがって、性感覚の不調和をいみしますから、男女の性生活があまりスムースにゆきません。

なんのこっちゃ

〔すばらしい乳〕

乳房がはりきっていて、肌がこまかく、形の大小には関係なくふくらみのある乳房です。その上、乳首がプクリともり上るようにして、上向きなのを条件とします。

このような女性は、愛情面の豊かさを物語り、性感のすばらしさをあらわし、性的にすぐれた人です。

イラスト／ちくこさん

—12—

ん、あたしこれがいいな

〔愛される乳〕

乳房全体が広くて大きく、弾力性があってうるおいのある皮膚をし、乳首が上向きである乳房です。

この種の女性は、肉体も精神面も健全であり、すばらしい性感覚にめぐまれ、敏感なセックス感度を持つ人ですから、万人に愛される家庭婦人向きの人です。

〔物質運のつよい乳〕

乳首が発達していて、乳の上にもり上っていて、プリプリしている相、形は小さいがポツンと乳房の上にとび出していて、色艶のよい相をいいます。

この女性は、物質運にめぐまれ、明るい男女の性生活をおくれる人で、その生理面も発達している人です。

—13—

〔敏感な乳〕

乳首の皮があつく、形がもり上っていて、色が紅い乳の女性は、性感覚に敏感で男性に愛される女性です。

女性としての肉体面も発育良好で、男性に対してその愛を充分にうけとめるタイプの人です。

〔鈍感な乳〕

乳房が小さく、しかもたれていて、その上弾力のない相です。

性器も発育不良ぎみで、女性として肉体的欠陥があり、男性の愛をうけることが少ない女性です。

—14—

〔つまらない乳〕

形ばかり大きく弾力性のない乳房、大きが乳首が下向きではりのない乳房、なんとなく皮膚がざらついていて色のわるい乳房、などは、セックスの面で耐久力のない女性ですし、性的魅力にとぼしい人が多いものです。

〔男運のない乳〕

未婚の女性で、左右の乳房の大きさがふぞろいの相です。

この女性は、男性に縁がうすく、薄幸な一生をたどりがちの女性です。夜の生活も面白みのない人です。

〔さびしい乳〕

乳房が小さく、その上両方の乳房の間がせまい相の人は、さびしい夫婦生活をおくる人です。暗い性格の持ち主のため、男性から愛をうけることが少ない人です。

—15—

すばらしい乳、つまらない乳、さびしい乳タイトルと内容がぜんぜんかんけいないですね。文章もくわしくかいてあるようで、じつはけっこうヘタっちょで説得力がありません。でもこおゆうのは『なんだこりゃへんなの』とかいって彼女のおっぱいとくらべながらみると楽しいかもしれない。僕は〔つまらない乳〕の乳首が目玉にみえてほんとにつまらなそうだとおもった。ところでA彦さんの漫画にはよくご本人がおっぱいだしてでてきますが僕のカンではA彦さんのおっぱいは〔敏感な乳〕ではないかとにらんでます。

☆A彦さん資料どうもありがとうね。

（Rさん・18さい）

みなさんにもRさんの言わんとしていることがおわかりなるとおもいます。しかしこの超有名人とゆうのはだれなんだろう。『乳首の標準』（前回参照）といい、ジェントルマンメモといい、超有名人といい、女のこのおっぱいに対する男の概念とはどおしてこんなにまヌケなのだろう。有名人のイイカゲンな自論がまだ発達していないちっちゃなおっぱいにトラウマとなってとりついているのだ。

ここに紹介したおっぱいの話は送っていただいたお便りの文章の一部を短かくまとめたものです。中には便箋10枚に切々とおっぱい分析をかいてくださったちもいて本当に楽しく拝見させていただきました。皆様どうもありがとうございます。最後に今回の第二弾で気がついたことをひとつ、

『男はもちろん、じつは女も女のこのおっぱいがすきだっ。』

べつに力(りき)んでいうことではありませんがこれはおっぱいフリークにとって重要な事実なのでみなさんもちょっと覚えておくとあとでやくにたつかもしれません。

男はだいすきな女のこの乳首を吸ってもなんともへいきですが女のこは女の乳首がすきだとしても同性のお乳を吸ったりつまんだりするのはなかなかできるものではありません。レズビアンになるしかないのかな? ちょっとかわいそうです。それじゃ今日はこのへんでみなさんさようなら。もしかしたら第三弾もやるかもしれないのでフリークは乳首をかたーくして待て!!

新日本おっぱい大好き秘密結社
おっぱいぽちょんクラブ会長・大越孝太郎でした。

← ひとりで勝手にやっている

水木しげる叢書刊行記念
緊急インタビュー

「餓死寸前だった貸本時代」

●水木しげる
●伊藤　徹（かごめしゃ）

INTRODUCTION

64年、貸本漫画の終焉期に、その版元である青林堂から月刊漫画『ガロ』は発行された。来る94年は『ガロ』創刊30周年にあたり、現在いろいろな企画が計画されている。その一つが、本年の6月から刊行が予定されている『水木しげる叢書』シリーズである。

『水木しげる叢書』シリーズは、水木劇画の原点（ルーツ）である貸本漫画作品にスポットをあて発掘していくもので、当時のカラーページも忠実に再現し、評論、資料も充実した『水木しげる選集〈貸本作品篇〉』の性格を持つ。第一弾は6月刊行予定の『妖奇伝』全二巻で、怪奇漫画誌『妖奇伝』[※1]に収録された「幽霊一家」「墓場鬼太郎」と、怪奇読切傑作集『墓場鬼太郎』[※2]の「地獄の片道切符」「下宿屋」「あ

※1　妖奇伝
兎月書房が59年に刊行した怪奇漫画誌。水木しげる編集と記されたこの作品集には、「墓場鬼太郎」の記念すべき第一作、「幽霊一家」のほか、伊藤正樹、瓦町三郎、初音三郎、西正彦、竹内八郎、南竜二が執筆。そのほか、水木妖怪画集の原点ともいえる「妖怪教室」が収録されている。

※2　墓場鬼太郎
売れ行き不振の『妖奇伝』は2巻で廃刊となり、東京作画会編集の怪奇読切傑作集『墓場鬼太郎』と改名される。そして『妖奇伝』カバー絵の「お化けの首」があまりにも不気味だったため、水木しげるは表紙絵から降板させられ、「墓場の鬼太郎夜話（よばなし）」も三回で打ち切られる。しかし兎月書房は原作・伊藤正美、画・竹内寛行で『墓場鬼太郎』を十九巻まで出し続け、読者を混乱に巻き込む。水木以外の執筆者は谷川きよし、中野進、松野たけし、佐野さかえ、他。この頃の鬼太郎は醜く狡猾で、後の正義のヒーローの面影もない。
（参考「竹内版墓場鬼太郎」平林重雄）

※3　**忍法秘話**
兎月版「墓場の鬼太郎夜話」は三巻で中絶したが、その続篇は『鬼太郎夜話』全四巻で無事完結をみた（実は幻の五巻が存在するのであるが…）。その出版社、三洋社の発行人こそ長井勝一氏で、結核療養のためやもなく三洋社を解散、復帰後造ったのが青林堂である。『忍法秘話』の主な執筆者は白土三平、水木しげる、諏訪栄（小島剛夕）、楠勝平、いばら美喜、小山春夫、ほか。ほぼ月刊に二十二巻まで刊行された。

※4　**鬼太郎国盗り物語**
日本征服をたくらむ地下帝国「ムー」の妖怪と戦う鬼太郎とその兄の寝太郎。四度目のテレビ化が予定されている。（『コミックボンボン（現デラックスボンボン）』講談社）

※5　**高木宏**
貸本漫画（主にB6シリーズ）研究家で、特に手塚治虫、白土三平の造詣が深い。今回参考とした『貸本マンガデータ』は貸本出版社の単行本リストのほか、「全国貸本新聞」の漫画発行予告で貸本の発行年が予想でき、「漫画社訪問記」で当時の貴重な逸話が知ることができる。戦後の昭和文化を語る上で、「貸本」は欠かせないものだけに、地道なこのような研究は賞賛すべきことである。

関係者でも立ち入り禁止の「ネーム室」

う時はいつも死人」の五篇を完全復刻する。本篇は、水木作品の中でも極初期作品に位置し、初めて墓場の鬼太郎が登場する処女作品にあたる。そして続く第二弾は7月刊行予定の叢書シリーズ第一巻『忍法秘話傑作集』で、『ガロ』の前身『忍法秘話』[※3]に収録された単行本未収録作品を中心に編集している。

今回、叢書シリーズ刊行記念ということで、ご多忙中の水木しげる先生に感慨深き貸本時代を回想してもらった。

苦渋にみちた兎月時代

——今回、『ガロ』創刊30周年記念ということで、水木先生の選集的な意味あいを持つ水木しげる叢書シリーズを6月からスタートさせていただくわけなんですが、まずはその第一弾『妖奇伝』シリーズのお話をお伺いしたいと思います。『妖奇伝』シリーズ全五話は、以後33年も長きに渡って続く鬼太郎伝説の幕開きシリーズなんですが、いわば手塚治虫の『鉄腕アトム』横山光輝の『鉄人28号』に匹敵する国民的ヒーローである鬼太郎シリーズ、今秋四度目のテレビ化[※4]も予定されているんですが、水木先生ご自身はその魅力の秘密をどのようにお考えでしょうか。

水木　それは昔の日本の民間信仰に基づいた「霊」の話だから続くんでしょうね。妙なものを感じるということは、国民的に昔からありますから。

——ここに貸本漫画を研究しておられる高木宏[※5]さんという方の資料があるんですが、そこに『全国貸本新聞』に掲載された「漫画社訪問記」という記事があります。それによる

と兎月書房[※6]の清水さんぐらい営業熱心な人はいない。そこのドル箱はさいとう・たかをの「台風五郎」と水木しげるの「墓場鬼太郎」だけと、社長は「墓場鬼太郎」のような内容のものは好まないとインタビューに答えていますが…。

水木　だいたい『妖奇伝』は売れなかったのです。それで『妖奇伝』をやめるについて、鬼太郎は非常に面白いという投書がきたんです。兎月の社長がその投書に感心して、『墓場鬼太郎』と誌名を変え続けたわけです。清水社長は営業畑出身ですから、編集の感覚がなかった。それで絵描きの人に原稿料の支払いをきちきちとしないんです。描き手はいくらでもいるという感じなんです。ですから水木さん[※7]は安い原稿料を10万円以上も貯められたわけです。それは非常に悪いと思いますよ。安い原稿料をそんなに貯めるということは。描いていけないじゃないですか。その点、長井氏[※8]の方は理解があったので、そういうことはしなかった。兎月書房崩壊の原因はそれですよ。

自由がない貸本漫画

——今回の叢書シリーズには、極初期作品である「プラスチックマン」や「恐怖の遊星魔人」など、アメコミ風の作品も復刻する予定なんですが、当時アメコミは勉強されたんですか?

水木　親父[※9]がアメコミの本を送ってくれたんです。親父はその頃進駐軍の通訳をしていましたから。アメコミの本をみながら、タッチを研究しました。

——「マメ博士の冒険」や「お笑いチーム」のようなギャグマンガもありますが…。

水木　いや、あれは兎月が次はギャグをやるといいだしたからなんです。方針なんです。自分が何をするっていったって、やらせてもらえない。鬼太郎のときだって、描かそうとしないんです。なんてったって、あんたは戦記物だって、いうこと聞かないんだから。

——戦記物は兎月の社長は気に入ってたんですか?

水木　いや、売れたからですよ、多少。『妖奇伝』もなかなか描かせてくれないですよ。結局売れなかったから、それみたことかということです。

幻の「恐怖の遊星魔人」とは

——暁星出版社から暁星まんがシリーズが出版されていましたが、16巻「怪獣ラバン」、20巻「地獄の水」、そして最終巻である27巻「恐怖の遊星魔人」[※10]が59年に出版されました。実は私も先日までこんな本[※11]が出版されていたとはちっとも知らなかったんですが、水木先生[※12]自身も最近までご存知なかったと、この貸本の資料に書かれていますが…。

水木　そう、知らなかったです。その原稿を持っていって金だけ受け取ったけれど、本は出なかったと考えていたんです。それは出版社がつぶれたから。最後の本だったんですね。極最近まで知らなかったです。描いて、それは面白い作品とまでは知っていましたが。

——最近、名古屋で一冊見つかったんですが、最後の一冊かもしれませんね。本当にそ

※6　兎月書房
神戸紙芝居界の巨匠、相沢先生に紹介された水道橋の小さな出版社。水木は57年のデビュー以来専属となり、処女作「ロケットマン」や「戦場の誓い」「マメ博士の冒険」などの初期作品、『少年戦記』シリーズ、「宇宙少年」、墓場鬼太郎シリーズ、河童の三平など数多くの名作を発表、その関係は64年まで続く。その当時、他の出版社からの単行本には〝東真一郎〟〝武良茂〟〝武取いさむ〟のペンネームを使用していた。

※7　水木さん
水木しげるは自分自身を「水木さん」と呼ぶ。「この勝丸先生が、何をかん違いしてしまったか、われらが武良茂さんを、ひたすら「水木さん」と呼んだ。いくら自分は「武良です」と主張しても、先生は平気で「水木さん」と呼びつづけたというのである。水木荘の武良さんから、武良さんが消えてしまったのであろう。結局、武良茂さんも面倒くさくなって、水木の名前を引き受けることにしたというのだ。(「ガロ」編集長・長井勝一)」

※8　長井勝一
原稿料を支払わない兎月書房から、水木しげるの窮地を救ったのは、三洋社の長井勝一である。『鬼太郎夜話』四巻刊後、長井は病気で入院し、五巻「亀男の巻」は幻となる。その後、水木との関係は青林堂『忍法秘話』『ガロ』を経て、今日に至る。

※9　武良亮一
地方旧家の御曹司の典型のような人物で、水木しげるの幼児期に多大なる影響を与えたと思われる。86年死去。

※10　恐怖の遊星魔人
暁星文庫漫画選集27巻の本書は、長らく研究者の間では「幻の本」であったが、今回水木しげる叢書で完全復刻される予定である。「天才児鬼太郎(おにたろう)」とは、果たしていかなる怪人物であろうか。

の本の噂は全く聞きませんから。貸本漫画の世界を、今から考えてみますと、アクション、ギャグ、時代、青春ものが主流で、水木先生の得意だったSF、怪奇ものは少数派だったような気がするんですが…。

水木　その頃は、そんなことを考えている余裕がなかったですね。なんせ飯が食えんのですから。水木さんは兎月の専属でしたが、原稿料をきちんと払ってくれないもんだから、困って暁星なんかに〝東真一郎〟のペンネームで描かなければならなかったんです。よそは全部払ってくれますから。漫画の原稿の価値がなかったんでしょう。一番最初に兎月を紹介されたもんですから、ずっと付き合ってましたが、社長に編集の感覚が皆無で大変でした。だからよそに描くわけです。専属なら、もっと原稿料をきちんと払うべきですね。それで非常に苦しみました。今思い出しても耐えられないものでしたね。

描き甲斐のない貸本漫画の世界

――水木先生は兎月の頃から『少年戦記』[※13]の編集をやりながら、戦記作品を数多く発表されたのですが、それは戦争中の体験に突き動かされたからでしょうか？

水木　割当てです。『部長刑事』は大谷春介、水木さんは『少年戦記』、佐野栄なんかは怪奇ものでしたね。兎月は佐野栄の方が怪奇ものを描かしたら、うまいという感覚ですから。『墓場鬼太郎』の表紙絵なんかも佐野栄が描いています。要するに見る目がないんですね、全然。恐るべきもんでした。だけど、親しかったから仕方がなかった。それと見る目がないもんだから、描いて描き応え、甲斐がなかったですね。その点、紙芝居のときは鈴木勝丸[※14]という人でしたけど、これは見る目があるんです。面白いものは面白い、面白くないものは面白くないというんです。それはきちきちと当たってるんですね。それからやり方、みせ方についても、きちっといってくれました。お金も、なくっても払ってくれました。自分ところの仕事ですから。だから紙芝居でいいものを描けたわけです。兎月は自分を苦しめてばかりおりました。そして自分が逃げ出したときは、裏切りだとかなんとか、それはちょっとおかしいと思います。兎月も最後はつぶれましたが、編集の感覚がないんですね。戦記漫画は確かに描きたかったことは多少ありますが、それしか描かせてくれないんですよ。貸本漫画の編集なんてものは、本当に見事に編集感覚のない人が多かったですから、そういうのに支配されるんですから大変ですよ。

一生懸命は好きじゃない

――貸本時代の中期、水木先生は「庭に住む妖怪」「半幽霊」「亡者の笛」などの怪奇作品や「サイボーグ」「ベビーZシリーズ」などのSF作品を発表されるのですが…。

水木　だいたい、そういうものを描けといわれましたね。だからそういうものを描くわけです。全て支配されるんですから。そんなに自由じゃないですよ。今から考えると、おもちゃ屋の親父なんか、編集感覚の全くない連中のいうことを聞かなければならなかったから。

――貸本時代の後期、『黒のマガジン』や『劇

水木プロに棲む妖怪「水虎」

戸棚の上にも妖怪「あみきり」が……

※11　「恐怖の遊星魔人」のこと

※12　貸本マンガデータ（高木宏）

※13　少年戦記
　水木しげる責任編集の戦記短篇集形式の貸本誌。当時、映画などでも戦記ものが流行し、本書もわりと評判がよかったそうだ。水木しげるの言葉を借りると「み・じ・め・な戦記もの」を十五巻程やったわけである。

※14　鈴木勝丸
　水木しげるが神戸で紙芝居を描いていた頃、鈴木勝丸の阪神画劇社の専属であった。鈴木の紹介で「加太こうじ大先生」と知り合うことになる。

※15 東考社・桜井昌一
同じ劇画作家であった桜井昌一の東考社からは、水木しげるは数々の名作を世に送り出す。「悪魔くん」、「夜の草笛」「地獄流し」「怪談かえり船」などの幻想ロマンシリーズ、「約束」「水晶球の世界」などの黒のマガジンシリーズと、東考社なしに今日の水木しげるはありえなかったかもしれない。

「長井勝一氏の古希と会長就任を祝う会」で熱弁を奮う水木しげる

画No.1』『恐怖マガジン』といった中篇集の時代が来、水木先生も続々力作を発表されますが……。

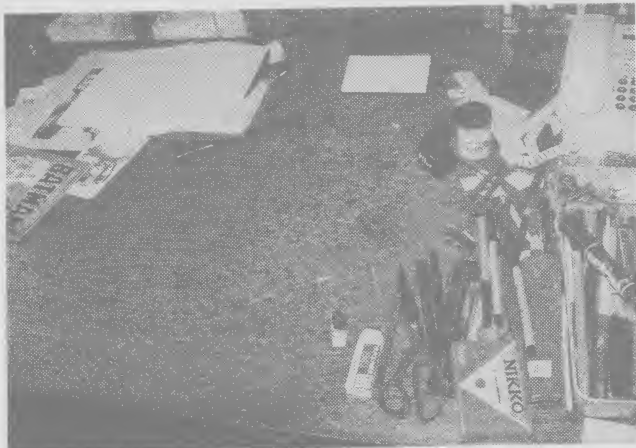
水木 あれも出版社の命令でした。こちらの自由はなにもなかったですね。しかし東考社[※15]は違ってですね。東考社は自分の描きたいものを描かせてくれました。東考社はよかったですね、自由に描かせてくれましたね。桜井[※15]さんは編集感覚はあるし、今でも感謝しています。

――今回の叢書シリーズ、第一回配本は『忍法秘話傑作集』なんですが、『忍法秘話』というと、白土三平さんの新作が毎号掲載されるのが目玉だったわけです。白土さんの忍者物といえば、全身全霊をかけて己の技に研きをかける忍者が登場するわけなんですが、同時に収録された水木先生の作品の登場人物は、のんびりしていて、どこかとぼけた市井の人が主人公なんですが、白土さんを意識されていましたか？

水木 少しぐらいは意識していましたね。水木さんは真剣に価値を想定して打ち込むような、例えば「巨人の星」みたいに、そういうのはあまり好きじゃないです。軍隊でえらい目にあってきたおかげでね。あのあと、そういうようにひとつに、昔は何でもとにかく、強くて役に立つのがいい人間だとされて、それにばく進して、失敗して、国が負けて不幸になったでしょ。そういう、この、熱中して、ある価値を設定して、突入するのはあまり好きじゃなかったです。ですから「巨人の星」とか、忍法でも一生懸命に世を変えるため争ったりする、そういうのはあまり好きじゃなかったなあ。「忍者武芸帳」はいいけど、「カムイ伝」はあまりねえ。大本の理想が今おかしくなってしまったでしょ、こういう時代にね。だからあまりそういうのは好きじゃないですね。

貸本漫画の崩壊と雑誌への移行

――今回の『水木しげる叢書』は全て貸本作品ばかりなんですが、水木先生が65年に『別冊少年マガジン』に「テレビくん」を発表して講談社漫画賞を受賞する同じ頃、最後の貸本作品「太郎岩」を発表されました。貸本漫画の終焉を前に、少年雑誌の世界へ移行しつつあった水木先生ですが、なにか感慨のようなものはありましたか？

水木 あの時はもう貸本漫画がもうダメになる時で、即ちもう必要じゃなくなったんですね、豊かになって。だから、あの時に滅びるものは滅びるし、雑誌に移行できるものは移行するという時代だったんですけれど、水木さんの場合は運良く講談社が来たんです、ちょうど。初めに来た時は、自分はあまり動かなかったんです。雑誌というのは一回うまくいかなければ、すぐ切られるでしょ。飯が食えなくなるでしょ。だけど講談社はひつこく来たから、ちょうど編集方針も変わって。そういう意味では偶然かなにか知らないけれど、講談社は救いの神だったんです（笑）。本当に救いの神だったんです。だから貸本漫画が終わるといっても淋しさなんか感じる余裕がなかった。食えない状況、餓死するか、しないかという状況ですから、そんな優雅な眺め方はなかったですね。死ぬか生きるかという状

※16　異能マンガ叢書1　徳南晴一郎「人間時計」（駒絵工房）

※17　徳南晴一郎の記憶　曙出版元編集長兼雑役　宮川義道

数々の名作を出した年季の入った机

貸本時代からスクラップされた膨大な資料集

況ですから。だから長井氏がやって来て、500円の原稿料を出すから『ガロ』に描けっていって来た時は、嬉しかったわけです。その時は、もう貸本はダメになりかけていた時です。だけど長井氏のところだけでは食えないわけですよ。それでマガジンが来たわけですが、それを一旦私はつっぱねるわけです。「宇宙もの」をやれっていわれてね。いろいろ考えた結果、やるのは嬉しいんだけれど、どうせ「宇宙もの」をやったって、うまくいかない、得意じゃないしね。その時断わったのがよかったんです。「宇宙もの」で面白く作れそうになかったですね。普通の人は飛び込むんだろうけど、恐ろしかった。やったあと、あまり良くないとすぐ終わってしまうだろうと、断わったのが良かったんです。次、半年ぐらいしてから、もう自由にやっていいといってきたんですから。その時はもう貸本漫画は壊滅状態ですよ。自由にやっていいといってきた時に、一発で「テレビくん」をやったわけです。考えてみると、貸本漫画の8年というのは、長い間に実力を蓄積しておったわけで、だから「テレビくん」で一挙にいけるという風になったわけですよ。

——水木先生は勿論御存知だと思うんですが、この本は徳南晴一郎氏の「人間時計」[※16]なんです。ファンの人達が復刻した本で、その解説で曙出版の元編集長[※17]が当時を回想している文章の中に、水木先生が登場しています。

「昭和38年、もうこの頃は、完全に劇画の時代となっており、発行部数も二千部を割るという末期的症状を呈しつつあった。入社して間もなく、「もう、こういう暗いものは受けないので…」と、丁重に断られて肩を落していたのは水木しげるであった。

水木　曙も水木さんを好みませんでしたね、冷遇するんです。「水木しげる」では本が売れないってね。「武取いさむ」なんて奇妙な名前を勝手に付けられたんですよ。曙の親父がね、ひどいもんですよ。

（このあと、話は古谷三敏の怪作「墓場の血太郎」やつげ義春ブームの解明などに及ぶが、それはまた稿を改めて。）

1992年3月27日

文責・かごめしゃ（伊藤徹）

写真撮影・前川俊夫

伊藤　徹

●責任編集/かごめしや●編集協力/㈱ツァイト●発行/㈱青林堂

水木しげる叢書

第1期 貸本作品篇 全10巻

幻の単行本収録貸本作品を完全復刻。
評論、資料も充実させた決定版。

◆収録予定作品◆

第一巻 忍法秘話傑作選
忍者無芸帳 忍者は一度勝負する 怪忍
太郎稲荷 ハト 未完成交響曲 ろくでなし
第二巻 黒のマガジン傑作集 I
約束 水晶球の世界 安い家 鉛
第三巻 黒のマガジンII
不死鳥を飼う男 猫又 庭に住む妖怪
第四巻 劇画No.1傑作集
群衆の中に 手袋の怪 大人物 壁 半幽霊
第五巻 劇画マガジン傑作選
伊四一潜の最期 太郎岩 水妖鬼 怪木
第六巻 恐怖マガジン傑作選
サイボーグ 髪 じごくの鈴 釣瓶落し
第七巻 スポーツマン宮本武蔵
第八巻 ベビーZ水人間現る
アマゾンの奇妙なもの 火星人がやってきた
第九巻 プラスチックマン
プラスチックボーイ
第十巻 恐怖の遊星魔人

〈その他続巻予定作品〉
戦場の誓い マメ博士の冒険 空中爆雷 お笑いチーム 地獄流し 妖棋死人帳 残月 うじ虫 亡者の笛

■全巻評論入 呉智英 権藤晋 四方田犬彦
■全巻解説入 伊藤徹
■完全限定1000部、各巻限定番号付
■B6判上製・函入、各巻平均160頁、頒価各3800円予定
■全巻完全予約制(予約特典付)
■92年7月から刊行開始(3ヵ月に一巻順次刊行予定)

◆水木しげる叢書・予約方法◆
封書に住所・氏名・電話番号、「水木しげる叢書全巻予約」の旨お書きになり、62円切手を同封の上、〒151 東京都渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル4F ㈱Zeit出版部 までお申し込み下さい。内容パンフレットと予約用紙を発送いたします。

※この「水木しげる叢書」は限定版ですので、一般書店では販売致しません

青林堂創立30周年・水木しげる叢書刊行記念

復刻版 妖奇伝 全2巻

昭和35年、血液銀行の調査員である私は、
輸血した血の中に「幽霊の血」が混じっていたことから、
社長直々にその調査を依頼された。
そして鬼太郎との運命的な出会いが……
記念すべき墓場の鬼太郎第一作誕生篇から、
夜叉死闘篇までを完全復刻。
鬼太郎伝説全ては、ここから始まった。
鬼太郎作品の原点が今ここに、甦る!!

墓穴から生まれた赤ん坊

■上巻／『妖奇伝』より 幽霊一家 墓場鬼太郎
『墓場鬼太郎』より 地獄の片道切符
鬼太郎作品完全リスト（平林重雄）
評論（呉智英）

■下巻／『墓場鬼太郎』より 下宿屋 あう時はいつも死人
解説（伊藤徹）

■B6判並製■上下巻セット箱入■各巻約200頁■カラーページ完全再現
■定価3,600円（本体3,495円）

6月刊行予定！ ご予約はお近くの書店さんでどうぞ

青林堂

※先月号広告でお伝えした水木しげる描き下ろし装画は都合により不可能になりましたので、現在それに代わるものを検討中です。

血液銀行の秋山

十三番病室の死者

人間モグラの男

人間モグラの女

りない目玉（鬼太郎の親父）

そば屋

場で生まれた墓場の鬼太郎

秋山の友人の漫画家

秋山の母

占いばあさん

理学博士有馬氾

大家

吸血鬼ドラキュラ四世

親切な大学教授

腕ききの刑事

吸血鬼夜叉

ドラキュラの下男ねずみ男

売れない漫画家金野なし太

日本血液銀行頭取禿山

吸血木